
東北大学陸上競技部

OB・OG通信

2018年No.5 (2018.10)

- ・ 秩父宮賜盃第 50 回全日本大学駅伝対校選手権記念大会東北地区代表選考会
兼第 36 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会
…男子優勝！6 年連続、全日本大学駅伝出場
 - ・ 天皇賜盃第 87 回日本学生陸上競技対校選手権
…男子 100m で宮崎 幸辰(M2)が 2 位表彰台
…女子 400m で佐貫 有彩(3)が 8 位入賞、55 秒 47 で部記録更新
 - ・ 第 33 回国公立 27 大学対校陸上競技大会
…男子総合 3 位、女子総合 5 位
…女子 100m で佐貫 有彩(3)が 12 秒 16 で部記録更新
…女子 200m で佐貫 有彩(3)が 24 秒 34 で部記録更新
…男子 200m で芦田 周平(2)が 21 秒 00 で大会新記録
 - ・ 第 13 回 N.S.S.U オープン競技会
…男子 4×100mR で白鳥(4)-芦田(2)-大衡(5)-藤井佳(M1)が 40 秒 98 で部記録更新
-

- ・ 秩父宮賜盃第 50 回全日本大学駅伝対校選手権記念大会東北地区代表選考会
兼第 36 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会 2～3 ページ
- ・ 天皇賜盃第 87 回日本学生陸上競技対校選手権 3～5 ページ
- ・ 第 33 回国公立 27 大学対校陸上競技大会 6～13 ページ
- ・ OB・OG 戦のご案内 14 ページ
- ・ 秋保マラソンのご案内 15 ページ
- ・ 自己ベスト更新者 16 ページ
- ・ 今後の予定 16 ページ
- ・ 編集後記 16 ページ

清秋の候、会員の皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。

今号では、秩父宮賜盃第 50 回全日本大学駅伝対校選手権記念大会東北地区代表選考会兼第 36 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会の結果と、第 33 回国公立 27 大学対校陸上競技大会の結果を中心に、各大会における選手の活躍をお伝えします。

◎秩父宮賜盃第 50 回全日本大学駅伝対校選手権記念大会東北地区代表選考会兼第 36 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会(9/24)・北上総合運動公園(岩手)

去年に引き続き北上での開催となりました。男子は 16km・10km のロードレース、女子は 5km、4km、6km の駅伝形式で、合計タイムを競いました。当日は日差しも強くなく走りやすい天候でした。男子チームは堅実な走りを見せて優勝し、6 大会連続 13 回目の本大会出場を勝ち取りました。女子チームも男子に負けじと健闘し全日本大学女子駅伝への出場はなりませんでしたが、あと一步と迫る 3 位となりました。リザルトと長距離 PC からの全日本大学駅伝への抱負を紹介します。

・男子対抗戦結果

順位	大学	記録
1 位	東北大学	5 時間 51 分 11 秒
2 位	東北学院大学	5 時間 54 分 58 秒
3 位	東北福祉大学	6 時間 02 分 40 秒

	氏名 (学年)	記録
16km	齊藤 寛峻(D3)	52'03"
	松浦 崇之(3)	52'25"
	本田 雄生(M2)	54'07"
	早坂 謙児(M2)	54'14"
10km	酒井 洋輔(4)	34'17"
	脇田 陽平(3)	34'29"
	木村 秀 (2)	34'30"
	石垣 雅生(1)	35'06"

・女子対抗戦結果

順位	大学	記録
1 位	東北福祉大学	1 時間 50 分 16 秒
2 位	石巻専修大学	1 時間 53 分 19 秒
3 位	東北大学	2 時間 07 分 44 秒

	氏名 (学年)	記録
5km	阿部 春花(4)	21'17"
4km	橋本 悠実(2)	16'58"
6km	卜部 仁美(M2)	27'16"
5km	須田 桜 (4)	20'41"
4km	岸田 晶穂(4)	17'58"
6km	栗原 唯 (M1)	23'34"



▲16km の部で優勝した齊藤(D3)



▲女子の部のスタートの様子

〈全日本大学駅伝の抱負〉

男子長距離 PC の嶋田拓郎です。9月24日に北上市で行われた全日本大学駅伝東北地区選考会を突破し、6年連続13回目の本戦出場を決めることができました。

今年の予選会は学院大の戦力との間に大差はなく、厳しい戦いになることが予想されていきました。少しでもミスをしてしまえば負けてしまうという重圧がありましたが、選手たちはその重圧に打ち克ち冷静に自分たちの走りをしてくれました。

今年全日本大学駅伝では一校でも私立大学に勝つことを目標にしています。東北大学は今大会の出場チーム中、唯一の国公立大学となります。他チームは全て私立大学ということで劣勢が予想されますが、予選会のように冷静に、粘り強くレースをすすめたいと思っています。選手一同伊勢路でも死力を尽くして戦います。応援よろしくお願いします。

東北大学学友会陸上競技部長距離 PC 嶋田 拓郎

◎天皇賜盃第 87 回日本学生陸上競技対校選手権 (9/6~9)

・等々力陸上競技場(神奈川)

各地区の予選を勝ち抜いた選手やハイレベルな参加標準記録を突破した選手など全国の猛者が集うこの大会に、我が校からも9名の選手が出場権を獲得し、8名の選手が出場しました。リザルトと選手の感想を紹介します。

男子 100m

・宮崎 幸辰(M2)

予選 8組1着 10"60(-2.0)

準決勝 3組2着 10"41(-1.5)

決勝 2着 10"35(-1.4)

まず初めに、サポートや応援をしていた多くの人々に感謝をしたい。2年ぶりの決勝の舞台に戻ることができて、とても光栄だった。最後のインカレの表彰台に立つこと、日本ジュニアよりも上の順位になれて、誇らしい気持ちになれた。昨年は僅かな差で決勝に行けず、今季に入ってから就活によるツアー離脱を余儀なくされ、自信を失っていた。残された時間は短かったが、逆に自分のすべきことを集中して行うことができたと思う。また期間中は、得意な強い向かい風が吹いていた。もし、去年と同様な追い風だったら、決勝にも進めていなかっただろう。だからこそ、攻撃的な戦術を組み立てることができた。戦略、戦術、天候、全ての要素が噛み合った、最高のレースだった。

最後の個人種目でキャリアハイを更新す

ることができて、安心して引退することができる。最後のレースとして国体のリレーがあるので、気を引き締めて最高のレースとなるよう全ての手を尽くす。改めて、ありがとうございました。

男子 200m

・芦田 周平(2)

予選 6組2着 21"41(-2.4)

準決勝 3組3着 21"61(-2.1)

人生で二度目の全国大会は200mでの出場となった。予選と一緒に走る選手達の中で自分は申請記録が最も遅かったので、最初から全力で行くことだけを考えていた。結果として二着で準決勝に進むことができ、その時はじめて決勝まで行きたいという欲が出た。準決勝は気づいたら終わってしまっていて、全力を出し切ったかも自分ではわからず、全体10番で落ちてしまった。もう一回走らせて欲しいと願ってしまうような、かなり後悔の残るレースだった。このレースを忘れずに今後も陸上を頑張りたいと思う。

女子 200m 400m

・佐貫 有彩(3)

200m	予選	6組 4着	24"66(-1.0)
	準決勝	2組 8着	25"44(-3.8)
400m	予選	5組 2着	55"47
	準決勝	1組 3着	55"53
	決勝	8着	55"74

200m は B 標準、400m は C 標準を切って、9月6日～9日に行われた全日本インカレに出場しました。

400m は直前にあった東北選手権で B 標準を切り、良い調子で全カレに臨めました。予選・準決勝は共に 8 レーンで前半から飛ばして自分でレースを作っていくイメージで走り、予選では自己ベスト、準決勝でもそれに近い記録をだし、着で次のラウンドに駒を進めることができました。準決勝は全体の 8 番目で通過したため、決勝では 1 つでも上の順位を狙いましたが、結果は 55"74 で 8 着でした。決勝に進出した他の 7 選手は 53～54 秒台の記録を持っており、前半から置いてかれたため、走力の差を非常に痛感したレースとなりました。

また、200m は 400m の疲れもあり、予選は+で何とか通過したものの、準決勝では大きくタイムを落とし敗退しました。

今回の大会では全国レベルの大会で次のラウンドで戦うという貴重な経験ができました。一方で勝ち進んだラウンドでは勝負にならず、力のなさを実感しました。今後はこの経験を生かして今シーズンの残りの大会と来シーズンの大会に挑みたいと思います。

最後に、応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

女子 1500m

・上條 麻奈(3) 予選 2組 11着 4'42"72

女子 1500m に出場しました。周りの多くの選手とは申請タイムで約 10 秒の差があったため、出来るだけ前について粘ることを目標としました。結果は 4'42"72 で組最下位となり、自己ベストにも遠く及ばず決してよいものではありませんでした。残り

1 周までは何とかついていくことができたのですが、そこから一気にペースが上がり全くついていくことができませんでした。

納得のいく結果ではありませんが、自分に必要なことや課題が多く見つかった大会でした。これからは今まで以上に練習に工夫が必要となりますが、自分の目標を見失わず、全国の舞台で戦えるよう努力します。

沢山の応援がとても心強かったです。本当にありがとうございました。

男子 10000m

・齊藤 寛峻(D3) 22着 31'47"99

今回、初の全カレ出場となりました。持ちタイム的に他の選手と勝負をすることは厳しいと思ったこと、シーズン前半は練習状況、記録とも好調だったことから、目標を自己ベスト(31'32"79)更新としました。シーズン前半は 32'を切るか切らないかくらいの記録で推移しておりその流れで行くと自己ベスト更新は難しいと感じていましたが、お盆前後で時間をとって強めの走り込み期間を設けることができたため、ベストも十分狙える状態で当日を迎えることができました。

当日、気温は高かったのですが 19:25 スタートで日差しがなかったこと、湿度もそれほど高くなかったことからギリギリ記録は狙えるというのがアップ時の印象でした(実際の気温 28℃、湿度 60%程度)。そのため戦略としては暑さを考慮して 6000m 辺りまではラップを回りや気にしすぎずやや抑え目に走り、それ以降余裕度に応じてペースを調整しようと考えレースに臨みました。

結果は 31'47"99(3'07" 08" 13" 12" 12" 13" 14" 12" 14" 03")でした。自分は昔からスロースターターで、周りを気にせず自分のペースで走れるタイプでした。しかし今回はいつも通りには行きませんでした。予想してはいたもののスタート直後で集団からあまりにも離されたこと、全国大会特有の異様な雰囲気(会場がトラックという閉

じた空間なので駅伝ともまた違う)で入りのペースがやや速まってしまった上、精神的に圧倒され序盤から想像以上に疲れてしまいました。また当日の食事に問題があり内臓系のトラブルが出てしまい、中盤でもう余裕がなくなってしまう、脚は少し残っていたものの終盤上げることができませんでした。結果に関しては気温や格上選手とほぼ同着だったことを考慮すると決して悪いものではありませんが、残念、情けないというのが正直な感想です。

しかし普段の大会にはない様々な経験をできたことは本当にいい思い出になりました。同期、先輩、後輩と様々な人が応援に駆けつけてくれたことも本当に嬉しかったです。また今回は例年以上に東北大の活躍が光りました。出場者数が多かっただけでなく準決勝、決勝の舞台で活躍する選手も複数いたことは本当に頼もしい限りです。全カレで東北大がこれほど活躍したのは自分が知る限りでは初めてです。今後にも期待がかかります。入部9年目のラストチャンスにこのような大会に出場できたことには本当に感謝しています。ありがとうございました。

男子 10000mW

・寺島 智春(2) 22 着 44'38"51

先頭がスローだったためスタートから中盤までは集団後方にて歩く。しかし、先頭のペースが上がってからは集団においていかれ、同じく第一集団から離れた選手と三人ほどの小さな集団で終盤までレースを展開した。なんとか必死に食らいつくも、ラストの600mは他の二人の選手にも離されてしまい、そのままゴールした。

タイム、内容ともに良くはないが、警告を出されることもなく最後まで歩ききることが出来て良かった。

・中川 岳士(M1) 29 着 46'04"36

10000mWに出場し、決勝29位で46'04"36でした。東北大学の選手としては

初めての出場で、学部時代と合わせると4回目の出場でした。今年度は6月上旬を境に練習がうまく積めない時期が続き、完全に準備不足で出場する形となりました。当然結果がついてくるはずもなく2000mで集団から離れてしまい、まともにレースさせてもらえず、4回の日本インカレの中で自己ワーストの結果でした。そもそも出場することすらも悩みましたが、全国の舞台というのはとても輝いていて、トラックにいただけで幸せだったので、終わってみれば出て良かったという思いです。また、チームメイトと共に同じレースに出る日本インカレは今年が初めてで、トラックに頼もしい後輩がいたことは心強かったです。来年は出場できるかわかりませんが、もし出ることになれば今度は納得のいくレースをしたいと思います。

女子 10000mW

・青木 まひろ(1) DNS

男子棒高跳

・高橋 昇之(4) NM

応援をしてくださった方々、本当にありがとうございました。

全カレはだれでも出れる大会というわけではなく、標準を突破した選手しか出場することができません。そのようなレベルの高い全国規模の大会に出させて頂けたことは一競技者としてとても光栄なことで、自分の競技人生で良い思い出となりました。陸マガで見たことあるような選手たちと一緒に競技をできたのは緊張しましたが、とても嬉しかったです。

一方で、記録を残すことができなかつた悔しさや不甲斐なさも強く感じる大会でした。

棒高跳はスタートする高さが4m80で自分の持ち記録よりも高かったのですが、高校生の頃に跳んだ事もあったので絶対に跳べると思っていただけに悔しかったです。

◎第 33 回国公立 27 大学対校陸上競技選手権大会(9/18～20)

熊谷スポーツ文化公園陸上競技場・・・(埼玉)

去年から名古屋市立大学を加え、27 大学による対校戦となった今大会。東北大学の選手は部記録が誕生するなど、例年以上の結果を残しました。対校戦に出場した選手たちの観戦記を掲載します。

男子100m 予選

1組4着 白鳥海知(4) 11"16(+0.3)

スタートの反応は良いかに見えたがトップスピードが伸び切らなかった。前3人と大きく離され4着でゴール。

3組1着 芦田周平(2) 10"83(+0.9)

スタートが決まり前に出れたので、そのまま流して1着でゴール。

4組1着 藤井佳祐(M1) 10"76(+1.4)

スタートから飛び出し、周りとの差をつけていた。しかし、後半は固い走りで二次加速が見られなかった。1着でゴール。

男子 100m 準決勝

2組2着 藤井佳祐(M1) 10"80(+0.7)

スタートで僅かに遅れていた。そのためかスタート後すぐ起き上がっており、うまく加速が出来ていない印象であった。予選よりタイムを落とし2着でゴール。

3組1着 芦田周平(2) 10"61(+0.9)

加速が決まり前に出れたので、そのまま流して1着でゴール。

男子 100m 決勝

1着 芦田周平(2) 10"64(+0.5)

最後まで他選手が並走してくる苦しいレースだったが、そのまま力で押し切り1着でゴール。

5着 藤井佳祐(M1) 10"94(+0.5)

スタート後二歩目の接地の際に足首を痛めた印象があった。スタート後すぐに起きあがりうまく加速が出来ておらず、二次加速も伸びていなかった。また今年上旬の怪我を引きずってか左足が蹴れていない印象も得られた。5着でゴール。

女子100m 予選

2組1着 佐貫有彩(3) 12"32(+1.1)

スタートで出遅れ、両隣の選手に先行される。50m付近で先頭に立ち、そのまま1着でゴール。

女子 100m 準決勝

1組1着 佐貫有彩(3) 12"23(+1.2)

スタートで出遅れ先行されるも、50m付近から徐々に差を詰め1着でゴール。

女子 100m 決勝

2着 佐貫有彩(3) 12"16(0.0)

予選・準決勝と同様やや出遅れる。得意の後半で先頭との差を縮めるもスタートで出来た差が縮まらず2着でフィニッシュ。

男子200m 予選

5組3着 白鳥海知(4) 22"40(+0.2)

スピード感の無いままにコーナーを抜けて2位。後半、外側からじりじりと詰め寄せられ、3着でゴール。

7組6着 山田将斗(3) 23"53(+0.6)

スタートしてすぐに体が起きてしまい失速。カーブを抜けてから前に食らいつこうとするも足が流れ上手くスピードに乗れず、そのまま6着でゴール。

8組1着 芦田周平(2) 21"62(+2.2)

カーブを上手く走れなかったが力で押し切り1着でゴール。

男子 200m 準決勝

2組7着 白鳥海知(4) 22"43(+1.2)

精細の欠いた走りでコーナー序盤から遅れていった。後半になりようやくピッチが上がってゆくがさほど差は縮まらず7着でゴール。

3組1着 芦田周平(2) 21"37(-0.1)

全体的に上手く走ることが出来たので、周りを確認しつつ1着でゴール。

男子 200m 決勝

1 着 芦田周平(2) 21"00(+0.7) GR

最初から最後まで本気で走り 1 着でゴール。

女子 200m 予選

1 組 7 着 小川明音(1) 28"00(+0.3)

スタートで出遅れ、カーブは力んで動きが小さい。遅れを取り戻せないまま、7 着でゴール。

3 組 1 着 佐貫有彩(3) 25"56(-0.4)

前半から攻めコーナーを抜けた時点でトップに立つ。後半はそのまま勢いのまま行き、余力を残してゴール。

女子 200m 準決勝

2 組 1 着 佐貫有彩(3) 24"92(+1.3)

スタート直後 1 つ内側の選手に詰められ、100m 通過付近でやや先行される。得意の後半で巻き返し、1 着でゴールした。

女子 200m 決勝

1 着 佐貫有彩(3) 24"34(+0.4)

比較的スタートの出遅れがなく、スムーズにコーナーを走って行く。コーナーを出た時点でトップに立ちそのまま逃げ切り、1 着でゴール。

男子 400m 予選

2 組 2 着 水戸部慶彦(4) 50"28

前半動きが硬く、後半で追い上げる展開で体力を余計に使ってしまった。

3 組 5 着 田口開斗(2) 51"49

ゆったりとしたスタート。80m 地点で 9 レーンの選手を抜き 3 番手あたりで 200m を通過するも 4 コーナー付近から失速し 5 着でゴール。

6 組 3 着 八巻隼人(2) 51"05

前半を抑えてスタートし 200m 地点を通過。ラスト直線で外側の選手を抜いたがピッチを上げることができず 3 着でゴール。

男子 400m 準決勝

2 組 2 着 水戸部慶彦(4) 49"33

予選の失敗を活かし、前半からスピードを出していく展開に切り替えた。250m 辺りで内側の選手に抜かされたが、焦らず自

分の走りを継続し、狙い通りのタイムと順位でゴール。

男子 400m 決勝

4 着 水戸部慶彦(4) 49"85

準決勝と同じく前半からスピードを出していく展開を構想していた。しかし、300m 辺りで内側の 3 番手の選手に並ばれ、付いていこうとしたが引き離されてしまった。

女子 400m 予選

3 組 3 着 小川明音(1) 1'00"86

ゆっくりスタートし、100m 通過地点で内側の選手に並ばれる。200m の通過で 3 位になり、そのまま順位は変わらずにゴール。

4 組 1 着 佐貫有彩(3) 57"39

ゆったりとしたスタートからリラックスしてバックストレートを走る。300m 付近で一度内側の横国大の選手に抜かされるが、ホームストレートで抜き返しそのまま流してゴール。

女子 400m 決勝

1 着 佐貫有彩(3) 55"51

勢いよくスタート。100m 付近で一つ内側の選手を抜き、バックストレートで外レーンの選手との差を詰めていく。200~300m のコーナーにかけて外側の選手を全て抜き先頭に立ち、2 位と 1 秒近い差をつけてゴール。

男子 800m 予選

2 組 4 着 荒田啓輔(4) 1'58"01

スタートから 300m まで 2 番手につける。その後、後続のペースアップにより、少し順位を落とし、先頭集団の後ろにつく。ラスト 300m からのスパートにも対応するが、最後の 100m で離され、4 着でゴール。

男子 800m 準決勝

3 組 3 着 荒田啓輔(4) 1'58"28

1 周目は、集団で走り 59 秒で通過。残り 300m 時点で、他大学の選手がスパートをかけたが、後ろにぴったりとつき 2 番手になる。しかし、ラスト 100m 時点で 1 人に抜かれ、3 着となりそのままゴール。

女子800m 予選

2組4着 加藤ひより(2) 2'25"94

ブレイク後5着につき、400mを71秒で通過。その後ペースを維持し3位まで順位を上げるも、競り負け4着でゴール。

3組1着 上條麻奈(3) 2'17"72

200m通過後、徐々に順位を上げ1週目を3位で通過。前との差を詰め、残り50mから2人を抜き1着でゴール。

女子800m 決勝

8着 上條麻奈(3) 2'20"27

ブレイク後、200mで3位につく。500mで1人に抜かれるも抜き返し、残り100mを3位で通過するが、ペースが落ち8着でゴール。

男子1500m 予選

3組2着 松田将大(4) 4'06"60

スタート後集団の最後尾につける。600mすぎから少しずつポジションを上げていき、残り600mでロングスパートをしかけ先頭から抜け出して独走状態になる。ラストの直線で福島大学の選手に抜かれるも2着でフィニッシュとなった。

4組9着 村松兼志(2) 4'10"83

スタート後全体の中盤付近に位置をとる。残り500mでペースアップについていけずに先頭と離れる。残り300mでスパートをかけ始め直線で新潟大学の選手を抜いて9着でフィニッシュとなった。

男子1500m 決勝

6着 松田将大(4) 4'04"60

スタートして集団の後方につける。そのまま800m走ったところで先頭のペースアップへの反応が遅れて先頭集団から少し離れる。追いかけてラスト300m付近で前の選手に追いつき、抜いてさらに前を追いかける。最後の直線で静岡大学の選手を抜いて6着でフィニッシュとなった。

男子5000m 決勝

2組26着 牧野雅紘(1) 16'37"77

はじめの入りの400mは76ほどであり自分には早いと思い、そこで先頭を離れる。

そこからは基本1人で走ることにになり、1キロ3'20ほどで走る。しかし3000mほどで3'22まで落ちたため、少しギアを上げ4000mを3'20最期の5000mは3'14で走った。結果としては16'37"77で、計画通りに近いタイムであった。

2組28着 臼井駿斗(2) 17'18"61

最初スタートしてから集団最後尾につけイーブンペースで1000mを通過、約1400mから同じ東北大の選手と二人だけで走ることにになり自分は後ろにつけ全体としても一番後ろとなりながらイーブンペースで2000mを通過、その後三重大の選手を抜かした。2800mまで同じ東北大の選手の後ろにつきながら二人で走り3000mを10"04で通過。ここまではややペースが落ちながらもほぼイーブンペース。

その後離されてペースが落ちてラスト1周まで1kmを3'40を僅かに切るペースで独りで走る。ラスト1周に入りペースを上げてそのままゴール。結果17'18"61の自己ベストであった。

女子5000m 決勝

23着 須田桜(4) 19'55"15

落ち着いてスタートした様子。入りの1kmは3分46秒で通過。集団後方の位置につけたまま安定して2kmを通過。次第に集団との距離が離れ、疲れが見えてくる。完全な単独走となり遅いペースで刻んでいく。ラスト300mからのスパートは見られたものの、なんとか20分を切ったという印象。

男子10000m 決勝

2組9着 黒須大地(2) 34'47"90

スタートから2000mまでは、3'20"/kmの集団に着く。2000m過ぎで集団のペースが落ちたため前に出たが、そのせいで体力を使い、3000m手前で集団から離れてしまう。その後はペースは落ちながらも、集団から落ちてくる選手を拾っていき、ラスト1kmを上げ何とか34分台でゴール。

男子110mH 予選

3組 3着 鈴木健大(2) 15"70(+0.7)

スタートはよく反応した。1台目は少し浮いたが悪くはない。2~4台目はハードリングもインターバルもスムーズに走っていたが、5,6台目で抜き足をハードルに当ててしまった。

結果、その後は減速により腰が落ち、ハードリングも浮いてしまった。1位2位との差は開いていき、3着でゴール。

5組4着 羽根田佑真(3) 16"00(-0.5)

スタートのリアクションタイムからワンテンポ遅れた。それでも一台目の入りは悪くなかったが、ぶつけないよう意識しすぎてか、全体的に浮きすぎていた。その分のロスと、インターバル間のキレのない走りが相まって、他の選手にどんどんつき離され、今季ワーストで4着フィニッシュ。

女子100mH 予選

2組 7着 泉屋咲月(2) 16"75 (-0.2)

スタートから動きが硬く、足が動いていなかった。1台目の入りで加速しきれず、手と抜き足のタイミングがずれてしまっていた。後半は徐々に失速。最後の2.3台はバウンディングのようになってしまい、苦しいレースであった。これからは走力強化と筋力アップを課題となるだろう。

男子400mH 予選

1組 6着 井戸端佑樹(2) 57"20

スタートの出は良かったが、3台目でハードルにリード足をひっかけバランスを大きく崩す。そのままうまく立て直せず失速を続けて6着でゴール。

6組 1着 加地拓弥(2) 53"95

スタートしてから5台目までスピードを抑えたバウンディング気味の走りで自身初となる14歩を試した。そこから15歩に切り替え、後半は踏ん張り、ほぼ同じスピードで走っていた隣の選手をかわして1着でフィニッシュ。

男子 400mH 決勝

3着 加地拓弥(2) 53"01

予選で試した14歩をより実践的な形にし、前半5台は今までのレースより1秒近く早いタイムで通過。しかし、カーブを曲がってからも思いのほかスピードは落ちておらず、そこで無理に15歩に切り替えたため急ブレーキをかけてしまった。これによりリズムが崩れ8台目でハードルに抜き足をぶつけ、それ以降失速。最後の40mで1人を抜くものの内側の選手に抜かされ0.01秒差で3位。

女子 400mH タイムレース決勝

2組 6着 柄澤菜々美(2) 1'14"42

逆足ハードリングの崩れもなくバックストレートでとばす。勢い続かず6台目以降失速。踏切も近まる。ストライドも縮まり大幅減速し、9,10台目と更に歩数は増え、脚は上がらない。そのままゴール。

男子3000mSC 決勝

3組 9着 酒井健(1) 10'39"88

スタート後集団後方につく。1周目の水濠で他大の選手と接触し集団から離れて最下位まで落ちるが、すぐに3人を抜いて前を追う。1人でレースを進め、1000m通過後集団から落ちてきた選手を数人抜いたが、ラスト1000mでペースアップできずに9着でフィニッシュ。

男子10000mW 決勝

1着 寺島智春(2) 43'29"57

前半は先頭の後ろにぴったりとつき、5000mから1人で飛び出す。そのまま後ろとの距離を保って1位でフィニッシュ。

10着 泉健太(1) 48'13"60

4:30min/kmで回る予定だったが序盤の段階から4:40min/kmまで落ち、そのままだらだらとペースを落としてしまい最後は脚が動かなくなって5:00min/kmとなってしまう。結果としては残念だが練習量を考えれば妥当といえる。

17着 山岸忠相(1) 54'19"24

序盤から集団と離れ、想定通りの一人旅のレースとなる。中盤からはこまめに給水を取り、フォームとリズムを保つ。終盤ま

で一定のペースで歩き、17着でフィニッシュ。

男子4×100mR 予選

3組2着 41"32

倉田(3)-芦田(2)-井戸端(2)-藤井佳(M1)

1走はスタートを決め加速。2走はそのままスピードに乗り3走にバトンを渡す。そのまま流れに乗り4走が二着でゴール。

男子4×100mR 決勝

3着 41"07

倉田(3)-芦田(2)-白鳥(4)-藤井佳(M1)

1走と2走でバトンが詰まる。その後スピードにのり3走にバトンパス。4走がバトンを受け取り加速して三位。

女子4×100mR 予選

1組4着 51"13

泉屋(2)-佐貫(3)-小川(1)-佐久間(2)

1走泉屋は勢いよくスタート。内側の横国大にやや詰められるも、安定した走りバトンをつないだ。2走佐貫は前との差を詰めたが追いつかず、3走にバトンパス。3走小川は1つ外を走る都留文科大と差を詰めほぼ同時にバトンパス。4走佐久間は都留文科大学に話されてしまうが、粘りの走りで4着でゴール。

男子4×400mR 予選

3組3着 3'19"35

田口(2)-水戸部(4)-八巻(2)-加地(2)

1走は田口。落ち着いたスタートを切り2~3番手辺りで300mを通過するも最後は疲れ4番手でバトンパス。2走の水戸部は巧みなコーナーマークを魅せ3位との差をじわじわと詰めるも最後は失速。3走は八巻。前半はゆったりと走り3位との差を広げられてしまうが最後の直線でギアを上げ4走の加地にバトンパス。150m地点で3位に浮上し2位との差を徐々に詰めて行く。最後は接戦になるも惜しくも抜かせず3位でフィニッシュ。プラスで決勝に進んだ。

男子4×400mR 決勝

3着 3'15"91

白鳥(4)-水戸部(4)-芦田(2)-加地(2)

1走は白鳥。200のスピードを生かし300mをいい位置で通過する。最後はやや疲れて5番手あたりで2走の水戸部にバトンパス。レーンブレイクすると各校のエースが集う混戦状態となり、懸命の走りで5番手あたりのまま3走の芦田にパス。ここでバトンを受け取るとスプリントを生かし、すぐさま加速。最初の100mで3人を一気に抜き去り2位に躍り出る。アンカーは加地。前半から快調に走り抜けるが、3位の東工大が猛追してくる。最後の100mあたりで抜かされ、3'15"91の3着でフィニッシュ。

女子4×400mR 予選

1組4着 4'00"88

泉屋(2)-佐貫(3)-小川(1)-上條(3)

1走泉屋はゆったりとした走りでバックストレートを抜ける。後半苦しい走りになるも最後に粘りバトンパス。2走は佐貫。最初の100m程で外の2人を抜き、先頭集団を追う。最後に1人をかわし3番目でバトンパス。3走の小川は懸命の走りで前2人との差を詰めていく。最後疲れてしまうが、4番手でバトンパス。4走は上條。同時にバトンパスをした学芸大に先行されるも安定した走りを見せ、4位でフィニッシュ。

女子4×400mR 決勝

6着 4'00"35

泉屋(2)-佐貫(3)-小川(1)-上條(3)

1走泉屋は勢いよくスタート。1つ内側の大学に抜かされてしまうが、前の大学に必死に食らいつき、バトンパス。2走佐貫は150m程で1人、300m付近で2人抜くも最後疲れてしまいなんとか3走にバトンパス。3走小川は1度横国大に抜かされるもそのまま付いていきバックストレートで茨城大を抜かず。最後に横国大を抜き、順位を1つ上げてバトンパス。4走上條は後ろにいた横国大に先行され、さらにバックストレートで学芸大にかわされる。後半は安定した走りを見せ後ろを離し、6着でゴール。

男子走高跳

2位 山下一也(4) 2m06

1m90 から試技を開始。1m90、1m95、2m00 で助走や跳躍を調整しながら 1 回でクリア。2m03 は助走のスピードやテンポアップ、重心の移動などがうまくいき 1 回でクリア。2m06 は 1 回目、動きが硬くなり踏切位置が遠くなり失敗。2 回目は直走を修正してクリア。2m09 は 1 回目、踏切が遠く失敗。2 回目は踏切一步前で少し重心が上がったために空中で回転不足になり、惜しくも失敗。3 回目は内径で少し重心が下がり過ぎ、踏み切ったが惜しくも失敗した。調子が良かっただけに 2m09 が跳べなかったのは悔やまれるが、助走の安定性が問題であると考えられる。今後は全体を通して安定して同じ跳躍ができるよう練習が必要である。

13位 高橋潤(2) 1m85

かけ上がるように曲線を走ること、しっかり踏み切ること集中しながら試合に臨んでいた。跳び始めの 1m80 は直線から曲線にかけての流れが良く、大きく余裕を残してクリア。続く 1m85 は曲線のカーブが大きくなりすぎたが、2 本目でクリア。1m90 は PB より上の高さだったこともあり、気持ちが入りすぎた結果、助走の安定性を欠き、クリアできなかった。今までは、踏み切り時に重心を普通よりも大きく後ろに残さなければ跳べなかったが、今回は重心を後ろに残しすぎなくともしっかり踏み切って跳ぶことができていた。一方で助走の不安定さが際立った試合でもあった。今回の良い踏み切りを常に再現できるようになること、常に適度な大きさのカーブで曲線を走れるようになることが今後の課題である。

根谷温(4) NM

アップから動きは良さそうだったので期待できた。しかし、跳躍になると動きがあまり良くなかった。特に、踏切がいつも増して硬く、タイミングが噛み合っていな

かった。180 の 1 本目は助走から踏切まですべて噛み合っていなかった。本数を重ねるごとに修正し、助走は良くなっていったが、踏切がかみ合わないまま試技は終了した。

女子走高跳

1位 中村真璃子(4) 1m60

150cm からスタート。助走がうまく走れていなかったが、サボリバネのおかげで 150 から 160cm まで 1 回でクリア。165cm はそれまでより曲走をしっかりと走るイメージで助走を行ったが、結局最後までハマらずクリア出来なかった。走り込みができていなかったのも純粋に走力が落ちていたことが考えられる。東北総体では曲走での内傾がしっかりかけられるよう練習を積んでほしいと思う。

男子棒高跳

6位 藤井大輝(4) 4m30

試技練習の 460 をゴムバーをかする程度で跳躍していて調子は悪くないと感じた。風が安定しない中ではあったが助走は常に走っていて悪くない。さらに以前からの課題であった空中動作を直近 1 ヶ月ほど集中して取り組んでいた成果もあり、以前の試合と比べると浮きがある跳躍ができていた。PB となる 440 は 1 本目でクリアしたかには見えたがポールへの返しを疎かにして、ポールでバーを落とした。

今後の課題は(改善されてきたが)空中動作、つっこみ時の左手が曲がってしまうことの 2 つが最優先事項と考えられる。

10位 赤星栄治(2) 4m10

3m70 から試技を開始。助走の意識を変えたことで今までよりポールの握りが高くなっており反発に遅れる今までの跳躍とは違い反発を待つような形で 4 m10 までクリア。4m20 は惜しいものもあったが、ポールが完全に柔らかくなっていたので反発を貰えていなかった。結果としては上のポールに変えるべきであった。今後はもう少し硬いポールで積極的に跳んで欲しい。

男子走幅跳

16位 増野巽哉(2) 6m55(+1.2)

最初の2本は無難な跳躍。3本目は意識が上手くまとまらず、動きがばらけていた。

跳躍全体として流れは悪くないが、着地で前回転を抑えきれしておらず早く足をついてしまっている点や、最後の3歩の加速が上手くできていなかったところなど改善すべき点はある。だか何より走力がまだまだ足りていないので、走力の向上というのが今後の大きな課題である。

50位 諸田直樹(1) 4m98(+0.2)

肉離れのため走り抜けて競技終了となった。結果として5mに届かない記録となったが、怪我を治すことを第一に考えて欲しい。

男子三段跳

32位 須郷大地(2) 12m33(+0.4)

助走の流れはよく、スピードは出せていたが、跳躍が全く良くなかった。

一本目はステップの地面を蹴るタイミングが遅く、ジャンプで前傾してしまい、着地ができなかった。二本目も課題が同様で、無理やり着地をしようとしたが、崩れてうまく着地できなかった。三本目もステップの蹴るタイミングが遅く、ジャンプ前に前傾してしまい、ジャンプで潰れてしまった。

今後は、集中的にステップの地面を捉えるタイミングを自分の中で変えていく必要がある。

34位 松岡恭平(3) 12m03(-0.3)

1本目、助走でスピードが乗り切らず記録が伸びなかった。

2本目、助走スピードが上がったものの1歩目2歩目で衝撃に耐えきれなかった。

3本目、助走の流れはよかったが、踏切板に30センチ届かなかった。今シーズンの中でよい跳躍であったが、ジャンプで距離を伸ばせなかった。

春から足首を怪我しているようである。早期回復につとめ、助走練習をしっかりとしてもらいたいものである。

35位 佐藤文哉(M2) 11m95(+0.3)

腰の負傷もあり、不本意な結果となってしまった。

ファールが多く、公式戦では記録を残そう(12m板だと着地に至れない場合がある)と、必死であったが、どうやら数年ぶりに対校戦で記録が残ったようである。貴重な選手枠を食い潰すような結果ばかりで申し訳なく思っているが、同時に、不甲斐ない競技人生ながら、6年間も選手として支えてくれたチームメイトに心から感謝したい。

女子三段跳

16位 渡邊朝美(M2) 10m46(+0.7)

混成競技と時間が被ってしまいばたばたしてしまっただけで、1.2本目は助走がはまらず、踏切前にスピードを上げることができなかった。また3本目はステップで潰れてしまい失敗跳躍となった。今シーズン残り少ない期間ではあるが、調子をあげていい跳躍で終えたいところである。

男子砲丸投

11位 大野誠尚(1) 11m21

1投目は記録を残すことを優先して無難に投げた。記録は10m台で全く伸びなかった。

2投目はグライドのスピードを上げて投げようと思って投げたが左足がサークル外にでてしまいファール。

3投目はファールしないように同様にグライドのスピードを上げて投げたが動きが萎縮してしまい11m20くらいになってしまった。

全体的に今大会では動きが小さくなってしまっていたので普段の練習から大きな動きができるように意識していきたい。

男子円盤投

17位 嘉津山拓登(2) 29m47

一投目、ターンの勢いやパワーポジションからの振り切りはよかったが遅い分体勢が崩れず安定した投擲になりPBとなった。しかし二投目、三投目はより良い記録を意識しすぎてFとなった。

全体として試合の組み立てや投擲動作のスピードを改善する必要がある。

男子ハンマー投

9位 宮本貴広(2) 28m83

やり投が終わってすぐの試合となった。練習投擲で32m程度飛んでPBを出せるだろうと言う気持ちで試合に出た。一投目はリリースが遅れ左に反れF、二投目は疲れからかターン中に体幹、特に腹筋の張りを感ず右に体がぶれて投げれたが右に飛んでFとなった。三投目はターンを最小限の動きとして投げることをイメージした。真っ直ぐ飛んでいったが練習投擲には及ばない投げとなった。

安定性がないので練習でもファールをしないような投げをする、例えばターンで体をぶれないようにする、投げたあともハンマーがある程度真っ直ぐに飛んでいくことを意識しながら練習したい。

男子やり投

14等 新出悠介(3) 49m68

1投目はやりを担ぐ投げができ、50m付近の記録が期待されたが、足がラインを踏んでしまいファール。

2投目は体からやりが離れてしまい、45m台の記録だった。

3投目はやりの尾が地面に付いてしまいやりが右を向いたままリリースすることになったが、ブロックが決まったため思った以上の記録となった。

調整不足な状態でも50m付近で安定した投げができたのは自信になった。しかし、今シーズンは1投目から良い流れを作ることができないことが多かったため、来シーズンは試技の流れを大切にしたい。

20位 轟孝太郎(1) 45m58

当日は朝から天気も良く、気温も自分にとってちょうどいいくらいのものであった。ただ、補助員の動きが悪かったことにより集中が削られたのは事実である。1本目はラインに足がかかりファール。結果として一番やりに力が伝わった感覚があったのがこ

の投てきであったので、心残り。一投目ファールのあと、二本目に変なプレッシャーで形が崩れてしまうのは毎回の課題。記録も伸びず44m後半。三投目は二本目の反省を生かして、やりの保持を高くして、また左に崩れていかないように投げたが、力は伝わりきらず45m58。結果的にこれがその日のベストであった。ファールのあと崩れるのもメンタル的なところにあると思う。日々イメージトレーニングを重ねていかないといけない。

21位 宮本貴広(2) 45m20

久しぶりのやり投であったため短助で投げた。一投目は投げる瞬間に肩甲骨を内側に寄せる感覚をつかみながら投げれたが思ったより伸びず45m20だった。二投目は体が前に突っ込みすぎて力を全てやりに伝えられず44m台。三投目は肘が少し痛んでいたのにも関わらず全力で力んで投げた。40mすら届かなかったのでFにしといた。

フォームも汚く下半身はおろか上半身の右腕しか使えていないので大した記録にならなかった。投げるときにやりの方向と体が逆方向になる癖がついてしまっているので治したい。しばらくはハンマーに専念するが来シーズンは50m台を投げれるように練習したい。

女子七種競技

5位 渡邊朝美(M2) 3933点

技術練習不足であり、どれも平凡な記録に終わった。最後の対校戦であったため無理矢理出場した形となってしまったため、もし次に機会があればぜひ準備をして臨んでほしい。

平成 30 年 9 月 14 日

東北大学学友会陸上競技部三秀会の皆様

三秀会主務 門脇 郁

平成 30 年度 OB・OG 対抗戦のご案内

拝啓

初秋の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より三秀会並びに東北大学学友会陸上競技部の運営に御支援下さいまして誠にありがとうございます。

さて、今年も OB・OG 対抗戦を下記の要領で開催いたします。詳しい要項につきましては添付のファイルをご確認ください。タイムテーブルにつきましては決定次第、再度ご連絡差し上げます。皆様方多数のご参加をお待ちしております。

敬具

記

日 時：10 月 20 日(土) 8:30 受付開始 9:45 競技開始予定

場 所：評定河原グラウンド

種 目：100m 400m 1500m 走幅跳 走高跳 砲丸投 やり投 スウェーデンリレー

申込方法：お名前、ご連絡先電話番号、卒業年、出場希望種目、登録陸協（ある方のみ）、弁当の希望をご記載の上、三秀会主務の門脇までご連絡ください。

申込期間：平成 30 年 9 月 14 日（金）から 9 月 29 日（土）

（郵送の方は 10 月 15 日（月）まで受け付けます。）

連絡先：東北大学学友会陸上競技部 三秀会主務 門脇 郁

E-mail sanshu2018@gmail.com

以上

平成 30 年 9 月 25 日

東北大学学友会陸上競技部三秀会の皆様

三秀会主務 門脇 郁

平成 30 年度秋保マラソンのご案内

拝啓

清秋の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より三秀会並びに東北大学学友会陸上競技部の運営にご協力くださりまして誠にありがとうございます。

さて、今年度も秋保マラソンを下記の日程で開催いたします。お忙しいとは存じますが、皆様方多数のご参加をお待ちしております。

敬具

記

日 時： 11 月 10 日(土) 9:00 受付開始
10:45 開会式
11:00 マラソンスタート
13:30 昼食
14:00 表彰式

場 所： 仙台市太白区秋保地区周辺

コース： 4 km、9 km、18 km

参加費： 3000 円

申込締切：平成 30 年 10 月 16 日(火)

申込方法：お名前・ご連絡先・参加コース・送迎バスの利用の有無をご記載の上、三秀会主務の門脇までご連絡ください。送迎バスは行きについては 8 時に東北大学川内キャンパス萩ホール前出発、帰りについては 16 時 30 分にホテルニュー水戸屋様出発を予定しております。送迎バスは片道 300 円程度の予定です。

申込先： 東北大学学友会陸上競技部 三秀会主務

門脇 郁

E-mail：sanshu2018@gmail.com

以上

◎自己ベスト更新者(7/30~9/24)

- ・男子 100m
芦田 周平(2) 10"61(+0.9) (27 大戦)
鈴木 健大(2) 11"30(+1.2) (27 大戦)
八巻 隼人(2) 11"39(+1.1)
(仙台大競技会)
加地 拓弥(2) 11"51(-0.4)
(仙台大競技会)
角田 陽 (3) 11"93(+1.1) (27 大戦)
- ・女子 100m
佐貫 有彩(3) 12"16(0.0) (27 大戦)
- ・男子 200m
芦田 周平(2) 21"00(+0.7) (27 大戦)
- ・女子 200m
佐貫 有彩(3) 24"34(+0.4) (27 大戦)
- ・男子 400m
加地 拓弥(2) 49"68 (仙台大競技会)
- ・女子 400m
佐貫 有彩(3) 55"47(日本インカレ)
- ・男子 1500m
村松 兼志(2) 4'10"83 (27 大戦)
- ・男子 5000m
臼井 駿斗(2) 17'18"61 (27 大戦)
- ・男子 10000m
黒須 大地(2) 34'47"90 (27 大戦)
- ・男子 110mH
楠木 啓介(M1) 15"60 (+1.0)
(仙台大競技会)
- ・男子 10000mW
寺島 智春(2) 43'29"57 (27 大戦)
山岸 忠相(1) 54'19"94 (27 大戦)
- ・男子棒高跳
赤星 栄治(2) 4m10 (27 大戦)
- ・男子円盤投
嘉津山拓登(2) 29m47 (27 大戦)

◎今後の予定

- ・10月20日 OB・OG 戦 …評定河原グラウンド
- ・10月28日 第36回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 …仙台
- ・11月4日 第50回全日本大学駅伝対校選手権大会 …熱田~伊勢
- ・11月10日 秋保マラソン …仙台秋保温泉 ホテルニュー水戸屋(仙台市)
- ・11月11日 東北大学学友会陸上競技部祝賀会
…東北大学片平北門会館 1F「さくらキッチン」
- ・12月2日 三秀総会(東京)

◎編集後記

先日の選考会では東北大学男子チームが6年連続となる全日本大学駅伝出場を決め、地方私立大学に勝つという目標に向け、練習に励んでいます。また、部記録の更新、日本インカレの標準突破が相次ぎ、部全体が上昇ムードの中、トラックシーズンの最終盤へと向かっていきます。

OB・OGの皆様、引き続きたくさんのご声援をよろしくお願いいたします。

文責 副務 黒須大地

東北大学陸上競技部三秀会

〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1

東北大学評定河原グラウンド内

hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp

日付	種目名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位								
9月20日	男子100m 風+0.5	芦田 周平(2) 東北大	10.64	朝日 喜紀(3) 静岡大	10.77	森山 史孝(M1) 電通大	10.79	小口 智毅(4) 一橋大	10.91	藤井 佳祐(M1) 橋本大	10.94	室岡 伸(2) 埼玉大	10.94	中野 彬徳(4) 横国大	10.96		
9月19日	男子200m 風+0.7	芦田 周平(2) 東北大	21.00	狩野 遼太郎(2) 東学大	21.56	妻木 泰斗(M2) 東工大	21.59	坂崎 功太郎(M1) 静岡大	21.67	経部 恭矢(1) 山形大	21.74	橋本 真志(2) 首都大	21.77	濱道 健(1) 東学大	21.80	田中 慎太郎(M1) 山形大	
9月18日	男子400m	池内 祐貴(1) 東学大	48.06	中山 雄介(4) 福島大	48.60	荒井 友太(4) 東学大	49.13	水戸部 慶彦(4) 東北大	49.85	高橋 知也(4) 東工大	51.62	杉山 雅俊(2) 東学大	52.04	真貝 将平(3) 東北大	52.39	石井 浩哉(3) 高経大	
9月20日	男子800m	石渡 謙(2) 横国大	1:54.73	加太 宏明(M2) 横国大	1:54.92	渡辺 宏太(3) 山梨大	1:54.92	青柳 良英(M1) 横国大	1:55.06	盛田 大地(3) 福島大	1:55.09	樽澤 克海(3) 福島大	1:55.29	牧田 蒼斗(1) 信州大	1:55.46	清崎 佑(1) 一橋大	
9月18日	男子1500m	青柳 良英(M1) 横国大	3:58.64	鎌田 晃輔(4) 千葉大	3:59.40	金子 雅也(M1) 静岡大	4:01.39	盛田 大地(3) 福島大	4:02.11	川崎 圭(4) 東北大	4:02.20	松田 将大(4) 千葉大	4:04.60	小川 真誉(2) 静岡大	4:04.97	山田 純平(4) 千葉大	
9月20日	男子5000m	塩田 匠(4) 東工大	14:47.69	坂東 健志(2) 信州大	14:50.18	柳沢 航希(3) 金沢大	14:52.49	山田 幸輝(M2) 宇都宮大	15:02.35	柿沼 祐亮(1) 宇都宮大	15:06.61	今江 勇人(3) 千葉大	15:07.50	水野 裕司(2) 千葉大	15:09.41	多田 駿介(3) 東工大	
9月18日	男子10000m	塩田 匠(4) 東工大	31:41.14	山田 幸輝(M2) 東工大	32:00.13	柳沢 航希(3) 東工大	32:05.63	佐藤 拓也(1) 金沢大	32:28.20	多田 駿介(3) 東工大	32:28.87	佐々木 海(2) 横国大	32:37.47	宇佐美 亮児(4) 横国大	32:43.80	菊池 啄哉(4) 高経大	
9月19日	男子110mH 風-1.3	中西 潤(2) 金沢大	14.57	佐々木 嵩(2) 東学大	14.60	北村 一真(1) 東学大	14.66	永島 唯哉(M1) 東工大	14.71	前三盛 喬樹(3) 東学大	14.98	立林 和歩(4) 茨城大	15.07	平山 悠太(3) 静岡大	15.30	松尾 祐哉(2) 群馬大	
9月20日	男子400mH	田邊 ジョー(1) 東学大	52.58	遠藤 幹康(1) 東学大	53.00	加地 拓弥(2) 東北大	53.01	尾藤 康太(4) 千葉大	53.05	松井 瑞季(4) 新潟大	53.86	武田 嵩史(M2) 首都大	53.94	須藤 健(4) 群馬大	53.97	須藤 圭太(1) 福島大	
9月19日	男子3000mSC	鎌田 晃輔(4) 千葉大	9:14.93	柿沼 祐亮(1) 宇都宮大	9:17.62	今江 勇人(3) 千葉大	9:20.10	小野 隼太(M1) 茨城大	9:24.42	鶴之沢 敦志(4) 横国大	9:29.03	水野 裕司(2) 信州大	9:30.39	山田 純平(4) 千葉大	9:35.48	湯川 友博(3) 高経大	
9月18日	男子10000mW	寺島 智春(2) 東北大	43:29.57	上田 俊希(2) 東学大	43:46.49	藤原 隆真(1) 一橋大	44:13.86	割田 圭祐(M1) 静岡大	45:02.78	青山 福泉(4) 東学大	45:18.07	小村 慶太郎(D2) 千葉大	45:26.05	高橋 直巳(M1) 東学大	47:15.13	山中 龍徳(3) 高経大	
9月18日	男子4×100mR	静岡大学 住吉 航(1) 米倉 祐典(1) 桜木 隆伍(3) 朝日 喜紀(3)	40.84	東京工業大学 天野 皓平(M2) 真田 知幸(M1) 妻木 泰斗(M2) 永島 唯哉(M1)	40.96	東北大 白鳥 海知(4) 水戸部 慶彦(4) 芦田 周平(2) 加地 拓弥(2)	41.07	一橋大学 朝日 航平(2) 恒松 玲央(3) 浅沼 優斗(3) 小口 智毅(4)	41.50	横浜国立大学 久保 源輝(2) 塩崎 将司(2) 藤谷 将大(3) 中野 彬徳(4)	41.63	首都大学東京 外池 康裕(M1) 橋本 真志(2) 武田 嵩史(M2) 瀧本 宝生(3)	41.85	千葉大学 浅利 拓(M1) 岩戸 隼哉(2) 田邊 祐弥(2) 林 瑛良(M2)	42.01	千葉大学 浅利 拓(M1) 岩戸 隼哉(2) 田邊 祐弥(2) 林 瑛良(M2)	
9月20日	男子4×400mR	東京学芸大学 濱道 健(1) 田邊 ジョー(1) 池内 祐貴(1) 狩野 遼太郎(2)	3:12.92	東京工業大学 高橋 知也(4) 村上 陽哉(2) 大塚 雄介(M1) 妻木 泰斗(M2)	3:15.76	東北大 白鳥 海知(4) 水戸部 慶彦(4) 芦田 周平(2) 加地 拓弥(2)	3:15.91	福島大学 小橋 圭太(1) 浦 和也(2) 安藤 圭祐(4) 中山 雄介(4)	3:16.45	首都大学東京 安達 耀一郎(M1) 外池 康裕(M1) 武田 嵩史(M2) 橋本 真志(2)	3:16.94	千葉大学 林 瑛良(M2) 金子 元貴(M2) 浅利 拓(M1) 尾崎 康太(4)	3:17.71	埼玉大学 本間 颯(4) 室岡 伸(2) 太細 裕斗(3) 水元 大雅(2)	3:18.32	静岡大学 花輪 駿也(2) 沢山 匠(1) 長瀬 博哉(1) 鈴木 拓朗(3)	3:21.63
	トラック対抗得点	東学大	79.00点	東北大	54.00点	東工大	50.00点	千葉大	40.00点	静岡大	36.00点	横国大	32.00点	福島大	25.00点	埼玉大	22.00点
9月20日	男子走高跳	久保木 春佑(1) 東学大	2m09	山下 一也(4) 東北大	2m06	佐藤 日彦(2) 群馬大	2m03	小林 拓己(M2) 東工大	2m03	小林 秀輔(M1) 埼玉大	1m95	成田 昂暉(1) 信州大	1m95	岩下 友輝(4) 横国大	1m90	宮坂 駿吾(2) 東学大	
9月18日	男子棒高跳	木内 智也(4) 茨城大	4m60	品田 大樹(2) 福島大	4m60	荒谷 亘彦(M2) 東学大	4m60	高須 莉喜(4) 横国大	4m50	小谷野 陽平(3) 茨城大	4m40	藤井 大輝(4) 東北大	4m30	伊勢 隼人(1) 新潟大	4m30	小坪 聖人(2) 東学大	
9月18日	男子走幅跳	磯部 晃太郎(1) 都留大	7m35(+0.2)	浅利 拓(M1) 千葉大	7m32(+1.7)	石井 祐太(4) 都留大	7m09(+0.5)	久保 源輝(2) 横国大	7m03(-0.1)	中山 広洋(3) 東学大	7m02(+0.6)	福垣 聡(2) 都留大	6m97(+0.3)	荒谷 亘彦(M2) 東学大	6m96(-0.2)	外池 康裕(M1) 首都大	
9月19日	男子三段跳	横森 友朗(2) 山梨大	15m72(-0.2)	窪田 章吾(4) 東学大	14m74(-0.3)	磯部 晃太郎(1) 都留大	14m63(+1.3)	島津 毅作(2) 横国大	14m54(-0.6)	香坂 俊光(2) 農工大	14m50(+2.0)	外池 康裕(M1) 首都大	14m21(-0.8)	河野 漢広(4) 千葉大	14m10(+0.1)	ムーア アレクサンダーアレクサンダー・海(2) 東学大	
9月19日	男子砲丸投	星 優介(3) 山形大	14m60	矢口 幸平(M1) 埼玉大	13m81	萩原 裕(4) 山梨大	12m77	鶴澤 祐聖(M1) 横国大	12m60	奥村 準哉(4) 新潟大	12m51	齋藤 真(2) 東学大	12m28	松本 亮大(2) 山梨大	11m93	齋藤 知樹(2) 横国大	
9月20日	男子円盤投	矢口 幸平(M1) 埼玉大	43m33	奥村 準哉(4) 新潟大	42m50	澤村 健斗(2) 三重大	39m70	星 優介(3) 山形大	38m61	鶴澤 祐聖(M1) 横国大	38m51	渡邊 直希(3) 静岡大	37m33	小濱 開(2) 首都大	37m15	橋本 瞭(4) 静岡大	
9月18日	男子ハンマー投	東井 航平(4) 信州大	46m60	星 優介(3) 山形大	41m16	矢口 幸平(M1) 埼玉大	39m84	鶴澤 祐聖(M1) 横国大	39m34	久津見 祥太(2) 横国大	35m37	萩原 裕(4) 山梨大	35m15	鈴木 理太(1) 宇都宮大	35m06	光吉 堯(3) 山梨大	
9月18日	男子やり投	中浦 凌馬(4) 茨城大	71m10	西山 忠宏(4) 新潟大	66m13	宮城 奎太(4) 新潟大	59m92	田中 佑資(2) 一橋大	59m04	鈴木 理太(1) 宇都宮大	56m40	増田 裕太(1) 宇都宮大	54m51	川崎 康裕(4) 茨城大	54m51	道下 遼(3) 茨城大	
9月18日	男子十種競技	山下 黎(4) 東学大	6216	川島 和真(M2) 千葉大	6028	川原 直之(4) 茨城大	6012	荻野 隼(3) 電通大	6008	古谷 勇人(2) 千葉大	5954	千葉 達也(3) 金沢大	5952	笹野 純也(M1) 横国大	5846	柴原 朋也(2) 金沢大	
	フィールド対抗得点	東学大	33.00点	横国大	32.00点	新潟大	26.00点	埼玉大	25.00点	都留大	23.00点	茨城大	22.00点	山形大	20.00点	山梨大	20.00点
	対抗総合得点	東学大	120.00点	横国大	66.00点	東北大	64.00点	千葉大	60.00点	東工大	55.00点	埼玉大	47.00点	静岡大	43.00点	茨城大	36.00点

日付	種目名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位								
9月20日	女子100m 風±0.0	中村 優希(4) 埼玉大	12.10	佐貴 有彩(3) 東北大	12.16	秋田 理沙(4) 金沢大	12.33	巖田 麗(3) 横国大	12.34	小宮 いつき(2) 東学大	12.42	川上 いちご(1) 千葉大	12.46	新田 彩(3) 福島大	12.58	児島 里菜(M2) 東学大	12.63
9月19日	女子200m 風+0.4	佐貴 有彩(3) 東北大	24.34	秋田 理沙(4) 金沢大	24.76	金井 菜奈(2) 福島大	24.89	小宮 いつき(2) 東学大	25.18	豊田 麗(3) 横国大	25.30	川上 いちご(1) 千葉大	25.31	柗田 結夢(2) 千葉大	25.65	柗田 結夢(2) 千葉大	26.24
9月18日	女子400m	佐貴 有彩(3) 横国大	55.51	安西 この実(M2) 横国大	56.43	中村 美宇(1) 福島大	56.51	川上 いちご(1) 千葉大	57.19	金井 菜奈(2) 茨城大	57.60	小林 莉菜(4) 茨城大	58.54	堅田 悠希(4) 都留大	59.48	川島 都妃(1) 千葉大	59.99
9月20日	女子800m	中村 美宇(1) 福島大	2:12.40	菅野 杏奈(3) 福島大	2:16.49	石井 彩(4) 都留大	2:16.98	楢久 美香子(2) 東学大	2:18.21	碓井 菜依(2) 千葉大	2:19.03	柳 好恵(4) 宇都宮大	2:19.81	多田 光里(4) 農工大	2:19.95	上條 麻奈(3) 東北大	2:20.27
9月18日	女子1500m	西川 優衣(2) 東学大	4:40.72	多田 光里(4) 農工大	4:43.84	原 舞奈(1) 東学大	4:44.78	舟山 愛理(4) 山形大	4:46.31	早爭 彩乃(3) 千葉大	4:46.75	石川 優鈴(3) 首都大	4:50.45	菅野 杏奈(3) 福島大	4:52.39	大塚 千穂(3) 茨城大	4:53.83
9月20日	女子5000m	原 舞奈(1) 東学大	17:25.29	舟山 愛理(4) 山形大	17:27.15	鈴木 優花 群馬大	17:30.44	石川 優鈴(3) 首都大	17:54.43	福岡 菜月(1) 静福大	17:55.46	大塚 千穂(3) 茨城大	17:57.63	蛭田 結衣(2) 埼玉大	18:07.71	鎌田 有希子(4) 新潟大	18:08.90
9月19日	女子100mH 風+1.2	吉田 菜穂(4) 福島大	14.09	森岡 美紅(M2) 横国大	14.28	千葉 桃香(2) 福島大	14.33	児島 里菜(M2) 東学大	14.46	高橋 砂里菜(3) 都留大	14.48	川勝 稀月(1) 東学大	14.50	高橋 美緒(4) 茨城大	14.74	松村 涼(4) 横浜市大	14.81
9月20日	女子400mH	小林 茜(2) 福島大	1:00.55	松村 涼(4) 横浜市大	1:01.08	坂本 るみ(1) 福島大	1:02.27	川島 都妃(1) 千葉大	1:04.19	小林 莉菜(4) 茨城大	1:04.96	本田 媛海(1) 信州大	1:05.00				
9月18日	女子1000mW	則本 菜々子(2) 東学大	50:08.21	櫻井 結花(4) 東学大	56:13.82												
7月30日	女子4×100mR	福島大学 小林 茜(2) 金井 菜奈(2) 小杉 恵理(2) 新田 彩(3)	46.78	横浜国立大学 鴨林 楓奈(2) 杉山 董(3) 熊谷 妙子(4) 豊田 麗(3)	47.56	東京学芸大学 児島 里菜(M2) 小宮 いつき(2) 田中 恵子(2) 川勝 稀子(1)	47.76	都留文科大学 鈴木 悠香(2) 池山 知佳(3) 川口 美聡(2) 田中 日向子(2)	49.57	茨城大学 高橋 美緒(4) 小林 莉菜(4) 谷口 寧那(2) 藤澤 真由(1)	50.06	静岡大学 佐野 紗智子(1) 天羽 桜子(2) 米澤 詩織(3) 藤浪 菜央(3)	50.12	首都大学東京 鈴木 菜生子(3) 西川 眞生(2) 三田 優子(2) 鈴木 亜理紗(4)	50.14	新潟大学 早坂 葵(1) 吾妻 佳奈(3) 山口 杏実(3) 小川 彩夏(4)	51.25
9月20日	女子4×400mR	福島大学 中村 美宇(1) 金井 菜奈(2) 坂本 るみ(1) 小林 茜(2)	3:47.70	都留文科大学 泉田 怜恵(4) 堅田 悠希(4) 石井 彩(4) 池山 知佳(3)	3:54.65	東京学芸大学 内山 成美(M1) 小宮 いつき(2) 小川 紗瑛(1) 三枝 花帆(4)	3:55.38	横滨国立大学 仲 美風(1) 豊田 麗(3) 弘田 来実(3) 安西 この実(M2)	3:56.19	千葉大学 大出 菜穂(2) 川島 都妃(1) 坂田 綾香(1) 川上 いちご(1)	3:57.26	東北大学 泉屋 咲月(2) 佐貴 有彩(3) 小川 明音(1) 上條 麻奈(3)	4:00.35	茨城大学 高橋 美緒(4) 小林 莉菜(4) 山本 紗生(1) 堀邊 美咲(3)	4:01.77	埼玉大学 田嶋 里音(3) 鬼塚 玲寧(4) 伊藤 知佳子(1) 中村 優希(4)	4:05.02
	トラック対抗得点	福島大	79.00点	東学大	62.00点	横国大	37.00点	千葉大	30.00点	東北大	27.00点	都留大	24.00点	茨城大	19.00点	金沢大	13.00点
9月18日	女子走高跳	中村 真璃子(4) 東北大	1m60	加藤 楓(3) 静岡大	1m60	飯野 綾(4) 群馬大	1m55	赤木 由布子(4) 横国大 小林 優里(4) 千葉大	1m50			藤澤 真由(1) 茨城大	1m50	竹川 里穂(2) 高経大	1m45	竹馬 李星(2) 東外大 宮坂 奈緒(2) 首都大	1m45
9月18日	女子棒高跳	青柳 有香(2) 東学大	3m50	速水 舞(4) 東学大	3m30	安部 美南(4) 福島大	3m20	池田 風香(2) 茨城大	3m00								
9月19日	女子走幅跳	藤野 茜(4) 東学大	5m75(+0.2)	高橋 かおり(3) 山形大	5m74(+1.1)	川口 彩夏(4) 新潟大	5m72(-1.0)	高橋 瑞希(1) 福島大	5m61(-0.9)	丹羽 智未(3) 三重大	5m56(+1.3)	古谷 夢華(2) 横国大	5m55(+2.0)	坂東 あすか(1) 横国大	5m44(+1.8)	田中 亜季(2) 東学大	5m39(+0.1)
9月20日	女子三段跳	高橋 かおり(3) 山形大	12m34(+0.5)	森岡 美紅(M2) 横国大	12m23(+0.2)	長根 史依(2) 横国大	12m14(+0.2)	飯田 詩央(2) 東学大	12m01(+0.3)	室谷 優里奈(3) 福島大	11m92(+1.1)	茂田井 みさと(1) 福島大	11m84(+0.8)	山口 彩夏(4) 新潟大	11m54(+0.3)	丹羽 智未(3) 三重大	11m51(+1.5)
9月18日	女子砲丸投	神山 結衣(4) 茨城大	12m09	平石 風歩(4) 東学大	10m85	佐久間 史穂(1) 宇都宮大	10m68	山形菜々子(2) 茨城大	10m47	寺中 菜月(2) 東学大	10m14	田中 実久(2) 群馬大	9m99	平賀 美波(3) 都留大	9m95	仁井田 侑子(3) 都留大	9m81
9月20日	女子円盤投	神山 結衣(4) 茨城大	39m81	山形菜々子(2) 茨城大	38m89	菅野 真由(1) 福島大	37m84	萩原 那緒(2) 静岡大	37m63	平賀 美波(3) 都留大	36m05	田中 実久(2) 群馬大	32m64	井川 遥菜(2) 信州大	28m60	望月 知葉(1) 東学大	24m22
9月18日	女子ハンマー投	池澤 彩花(4) 高経大	40m35	仁井田 侑子(3) 都留大	40m23	菅野 真由(1) 福島大	34m32	大和 史織(3) 群馬大	33m13	井川 遥菜(2) 信州大	24m56	寺中 菜月(2) 東学大	17m73	三枝 花帆(4) 東学大	12m80		
9月19日	女子やり投	高橋 奈津子(3) 福島大	50m80	平石 風歩(4) GR 東学大	50m11	望月 知葉(1) 東学大	48m00	杉山 沙巴羅(1) 福島大	46m84	島田 夏純(3) 茨城大	45m60	高井 七海(2) 金沢大	40m12	萩原 那緒(2) 静岡大	39m75	金森 彩葉(3) 静岡大	36m31
9月19日	女子七種競技	田中 恵子(2) 東学大	4580	石川 瑛子(4) 山形大	4290	阿毛 清夏(3) 埼玉大	4197	鬼塚 玲寧(4) 東北大	3948	渡邊 朝美(M2) 埼玉大	3933	高辻 純乃(1) 茨城大	3728	神原 彩花(1) 茨城大	3585	宮坂 奈緒(2) 首都大	3377
	フィールド対抗得点	東学大	49.00点	福島大	45.00点	茨城大	36.00点	横国大	22.50点	群馬大	16.00点	山形大	15.00点	静岡大	15.00点	高経大	9.00点
	対抗総合得点	東学大	126.00点	福島大	124.00点	横国大	59.50点	茨城大	57.00点	東北大	39.00点	千葉大	34.50点	山形大	33.00点	都留大	30.00点